



判例を調べる

いわき総合図書館ビジネスパスファインダーNo.5

≪判例とは？≫

過去に下された裁判の判断で、その後の判決で参考とされるものを判例といいます。判例として公表されるのは、訴訟事件のごく一部だけです。マスコミなどで報道される有名な事件でも、法解釈上の新たな参考点がなければ判例にはなりません。

≪判例を探すときのポイント≫

◆事件名に注意	マスコミが使用している事件名は、必ずしも裁判所の事件名と一致するとは限りません。
◆被告・原告名に注意	データベースなどでは、被告・原告名を仮名に変えて掲載していることもあります。
◆新聞記事をみる	社会的に有名な事件や重要な裁判の場合、新聞に判決文や判例要旨が掲載されることがあります。5階ビジネス支援コーナーの新聞記事データベースをご活用ください。
◆判例集や雑誌名の略称に注意	判例集や判例雑誌名は通常略称で表記されています。 【例：判例時報⇒判時】 『判例六法』の巻末等に略称に対応する資料名の一覧があります。

≪引用された判例を調べる場合（出典の見方）≫

図書や雑誌で引用されている判例を探したい場合、判例の引用(=出典)が重要な手がかりとなります。判例引用の方法には一定の決まりがあり、それをマスターすれば、求める判例にたどり着くことができます。

<p>〈例〉 <u>最(三小)</u> <u>判</u> <u>昭62.3.3</u> <u>昭59(あ)</u> <u>第1090号</u> <u>刑集41.2.15</u></p> <p style="text-align: center;">① ② ③ ④ ⑤</p>	
①裁判所名	裁判が行われた裁判所名の略記。最高裁は、大法院・小法院まで表示。 例) 最大=最高裁判所大法院、最=最高裁判所小法院、最(三小)=最高裁判所第三小法院
②裁判の種類	裁判の種類には判決・決定・命令があります。「判」「決」「命」と表示。 判決=民事・刑事訴訟事件において、裁判所が訴訟全体について判断を示すもの。 決定=訴訟手続きの付随的な事項について判断を示す場合や、民事執行・民事保全 破産等の非訴訟事件について判断を示す場合に裁判所によって行われる。 命令=決定と同内容だが裁判官が行う。
③裁判年月日	判決・決定・命令が言い渡された年月日。
④事件番号	裁判所に申し立てされた年度・裁判所の種類・事件の種類を符号・番号が組合わされたもので裁判ひとつひとつに付されているもの。
⑤出典	その判例が掲載されている判例集や雑誌名、巻号、ページ。略称で表記。

⇒「最高裁判所第三小法院において昭和62年3月3日に言い渡された判決で、昭和59年に裁判所に申立てされた1090番目の刑事上告事件、『最高裁判所刑事判例集』41巻2号15ページに掲載されている」ということがわかります。

≪判例の探し方に関する図書≫

- | | | |
|-------------------|-----------|----------------------|
| ◆『リーガル・リサーチ 第3版』 | いしかわまりこ他著 | 日本評論社 一般法学 320.7/イ |
| 法情報調査の完全ガイドブックです。 | | |
| ◆『判例とその読み方 改訂版』 | 中野次雄編 | 有斐閣 5階米倉文庫 X/320.9/ハ |

≪図書・主要判例雑誌で調べる≫

- | | | | |
|--|---------------|-----------------|------------------|
| ◆『最高裁判所判例集』 | 34巻～58巻(欠号あり) | 最高裁判所判例調査 | 5階米倉文庫 X/320.9/サ |
| 裁判所が重要な判例として選んだものが掲載されている公式の判例集です。 | | | |
| ◆『基本判例』 | 第一法規出版 | 一般法学 参考 R/320/キ | |
| 明治以降の全裁判所・全分野の裁判の中から重要な判例を選択して、法令・条文順に収録しています。加除式(内容変更部分を差し換えて使用するもの)です。 | | | |
| ◆『ジュリスト』 | 有斐閣 | 月刊 | 5階ビジネス雑誌 5P-24 |
| 法律雑誌。「時の判例」として裁判例を取り上げています。 | | | |
| ◆『判例地方自治』 | ぎょうせい | 月刊 | 5階ビジネス雑誌 5P-28 |
| 地方公共団体の行政・民事判例を収録しています。重要判例には解説あり。 | | | |

※雑誌の最新号、参考図書、米倉文庫は貸出できません。館内でご覧ください。

≪インターネットで調べる≫

- | | |
|--|--|
| ◇「裁判所」 | http://www.courts.go.jp/ |
| 「最近の裁判例」では、最高裁判例集及び下級裁判例集は過去3ヶ月のもの、知的財産裁判例集については過去1ヶ月のものを見ることができます。
「裁判例情報」では、最高裁判例集、高裁、下級裁、行政裁、労働事件、知的財産権の主要判決を検索できます。また、各地の裁判所へのリンクもあります。 | |
| ◇「消費者問題の判例集」 | 国民生活センター http://www.kokusen.go.jp/hanrei/index.html |
| 消費者判例のうち、消費生活や消費者問題に関して参考となる判例を毎月1件追加しています。専門の学者や弁護士による解説付です。 | |

≪データベースで調べる≫

- | | |
|--|------|
| ◇『D1-Law.com 判例体系』 | 第一法規 |
| 明治24年(1891年)以降の判例集等に掲載された約18万件の判例が検索できます。第一法規独自の判例要旨を収録し、裁判結果、上訴等の情報も表示。参照中の判例について同一の論点・争点を持つ判例を「体系目次」として同時表示しており、関連情報も取得することができます。一部「判例タイムズ」などの解説情報があります。 | |

*データベース利用端末からご利用いただけます。プリントアウトは有料となります。